

「新規分野への展開」によるさらなる成長

THKは、ビジネス領域の拡大を図るべく、成長戦略のもう一つの柱として「新規分野への展開」を掲げています。先進国においては資本財市場が成熟する一方、消費財に近い分野には直動システムをはじめとしたTHK製品の膨大な需要が潜在していると考えています。

機械の運動は回転、直線とその組み合わせによって成り立っています。回転ベアリングの歴史を振り返ると、すべり軸受けからはじまり、やがてころがり化、リテーナ化される中で市場は大きくなっていきました。さらに、産業用機器分野から自動車などの民生品分野へと展開する中で市場は拡大し、今や世界で数兆円規模とも言われています。そして、直線運動案内に目を向けると、回転ベアリングと同じ軌跡を辿るように、LMガイドによってころがり化が実現され、さらにはリテーナ化へと進んできています。機械の運動が回転と直線から成り立っていること、回転ベアリングと同様の技術的変遷を踏まえると、直動システムにとっても民生品分野には大きな需要があると考えています。この需要を切り開いていくことこそが、THKの考える「新規分野への展開」です。

その展開は、輸送用機器分野を担当する「FAI事業部」、人々

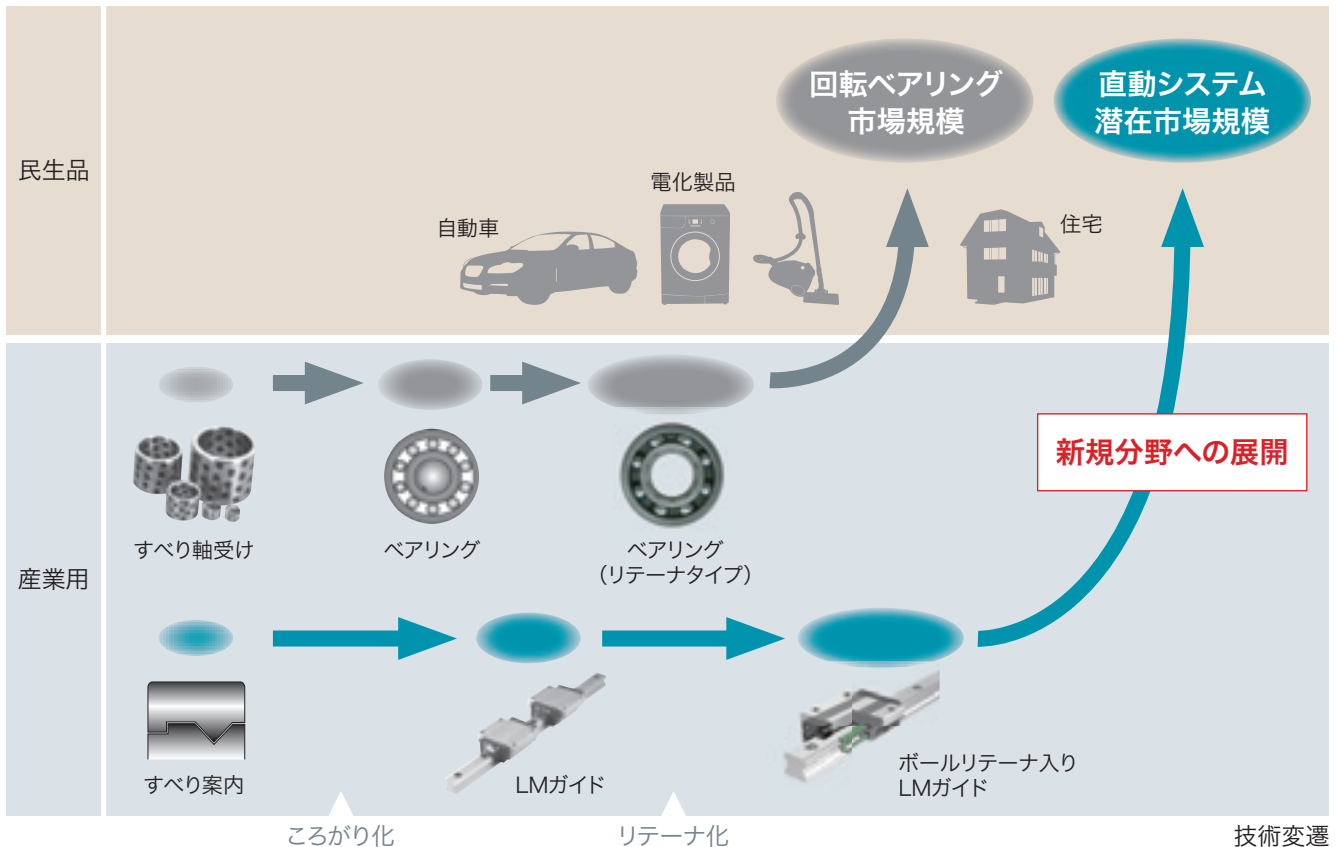
の生命や財産を地震の脅威から守る免震・制震装置を主に扱う「ACE事業部」、そして電動アクチュエータやユニット製品事業の拡大を目的とする「IMT事業部」を中心に進めており、各事業分野でのTHK製品の採用数は着実に増加しています。

しかし、直動システムをはじめとしたTHK製品の潜在需要はこれらの事業分野に限定されません。現在では、CTスキャナなどの医療機器、航空機や自動車などの輸送用機器、風力・水力発電といったエネルギー関連、さらには宇宙における船外活動を支援するロボットハンドなど、様々な分野に直動システムは浸透してきています。

THKは、これまで培ってきた直動システムのコア技術と蓄積されたノウハウをベースとして、「新規分野への展開」をさらに加速させていきます。

「新規分野への展開」の位置付け

市場変遷



拡がる新規分野での採用

医療



宇宙船外活動用ロボットハンド

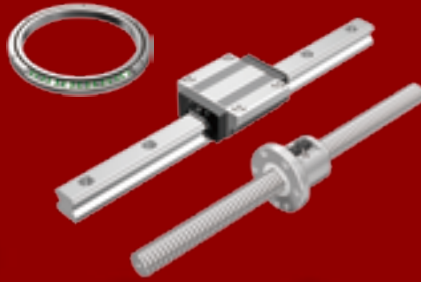
宇宙



THKのコア技術



航空機



ロボット



自動車

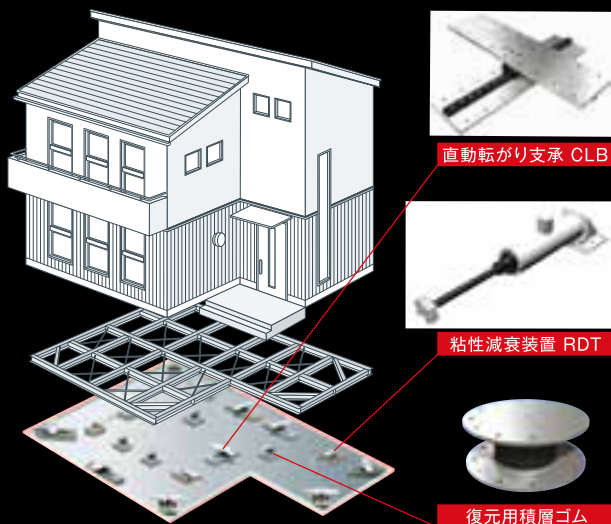


エネルギー

「新規分野への展開」例

住宅

建物を地震の揺れから守る免震・制震装置を開発するとともに、ホームオートメーション関連機器への直動製品の採用拡大に取り組んでいます。



自動車

自動車用スタビライザーリンクボール(下図)以外にも、次世代のステアリング、ブレーキ、サスペンションの他インテリアなど自動車の様々な機構部品において、直動製品の採用拡大に取り組んでいます。

